

令和五年度阿蘇小学校学校だより7号

# 阿蘇の風

文責：後藤 昭

## 体験活動充実の9月でした。

①6年生修学旅行で、戦争の悲惨さを学んだり、チームワークを高めたりしました。

9月7日8日、長崎方面に6年生が修学旅行に行きました。

7日朝から出発式を学校で行い、いざ長崎へ。高速道路を経由して長崎に入り、

まずは腹ごしらえをし

ました。長崎名物皿うどん

などたっぷり食べ

ました。午後から

まずは、語り部の話をお聞

講



きました。胎内被爆をされた陸門良輔さんは、8人家族でも原子爆弾のことは話さない兄のことや勤労学徒挺身隊として工場で働いていた姉が体調を壊し、毎日嘔吐するその姿を見て母親が叱ってしまったことや自らが姉を入浴に關して差別してしまったこと、大分の親戚が原子爆弾で被爆したこと



を知って家族を差別するようになったことなど、たった一発の原子爆弾によって、約14万人の命を奪っただけでなく、家族や友人などの信頼関係まで壊

されたことを子どもたちにも伝えてくださいました。その後、平和公園で平和集会を行いました。外国の方もその様子を見ていらっしやいました。そして、平和学習であるフィールドワークに、平和ガイドさんの引率で班ごと出発しました。山里小学校、如己堂、永井隆記念館、浦上天主堂、原爆投下中心地をめぐるまし

1日目最後の平和学習は長崎原爆資料館です。原子爆弾の影響で、止まった掛

け時計や溶けた瓶、曲がった弁当箱など本物がそこにある。また、映像や模型を使って子どもたちにもわかりやすくされていました。



いよいよ、楽しみにしていたホテルでは、豪華な夕食、友達と夜中まで続いた話など大変盛り上がったようです。

2日目、ハウステンボスでたっぷり楽しみました。家族へのお土産も予算と照らし合わせながら、買いました。

あつという間の2日間でしたが、旅行業者の方やバスの運転手さん、ガイドさんへの感謝も忘れず最後まで過ごすことができました。

この2日間でも体験・経験を大切にしながら、これからの小学校生活を過ごしてくれると信じています。